

原発の再稼働に反対し、原発ゼロの社会をめざそう！

原発の再稼働に反対し、全ての原発を廃炉にしよう！

福島第一原発事故から1年5ヶ月が経過しますが、未だに放射能からの脅威が続き、収束の目途がたつていません。国会の事故調査委員会が「地震による原子炉損傷の可能性も否定できず、事故の主原因を津波に限るべきではない」とした指摘以外は、事故原因を特定するに至っていません。こうしたなかで政府は、福島第一原発事故の原因がはつきりしないまま、7月13日に大飯原発を再稼働させました。野田総理は故郷を追われた16万人余りもの人々の苦しみや悲しみを置き去りにしたとしか言いようがありません。

毎週金曜日に首相官邸前では、原発の再稼働に反対する市民がデモを展開し、7月29日には20万人が結集しました。

狂気といえる原発の再稼働に強く抗議し、全ての原発の廃炉を求めるために闘おうではありませんか！



無責任な原発輸出に反対しよう！

福島第一原発事故にもかかわらず、ベトナムでは日本による初の原発輸出事業が進んでいますが、ベトナムは共産党の一元支配とあって、目立った反対運動は見られません。

しかし、大自然に囲まれた建設予定地では、一様に日本の二の舞になるとの不安を抱いています。「みんな豊かな漁場のある村を離れたくなかった。そこへ日本の原発事故が起きた。テレビを見て怖くなり、説明会でも反対意見が出た。でも最後は国に従うしかない。」と、赤ちゃんを抱いた母親が打ち明けています。

しかも、枝野経済産業相は7月14日に原子力発電所の事故に備える原子力損害賠償制度の整備で、日本がベトナムに協力する覚書を結んでいます。いまだに福島で犠牲になった人たちの補償も満足にできていない日本政府にそんな資格があるのでしょいか。

日本の核武装に反対しよう！

6月20日、原子力の憲法とも言われている「原子力基本法」に「我が国の安全保障に資することを目的にして」という条項が加えられました。

この改正案をつくってきた自民党の塩崎議員は「核の技術を持っているという安全保障の意味がある」（6月21日東京新聞）と述べ「原子力技術は潜在的な軍事力だ」と明言しています。このことは「原子力の平和利用」の欺瞞性を明らかにするものであり、原子力を国の軍事力として推進する法改正が公然と行われたのです。原発推進の狙いがここに現れています。

唯一の原爆被爆国である日本のすることではありません。平和な日本・平和な世界をつくるため共に声を出していきましょう。

問題点が多く、原発を必要とするリニア中央新幹線建設に反対しよう！

JR東海は、昨年5月に国土交通大臣から「営業主体及び建設主体の指名」と「建設指示」をうけ、リニア中央新幹線建設をより具体化しました。しかしリニア中央新幹線には多くの問題点があります。

問題点① JR東海の財源と採算性について

JR東海は、東海道新幹線を買収した5兆4千億円の残り約3兆2千億円の借金を現在も抱えています。このままでは東京〜名古屋間のリニア建設費5兆1千億円が更に加わります。JR東海が見込む5兆1千億も相当甘いと言われています。JALは2兆3千億円の負債額で経営破綻しました。JR東海もJALの二の舞になりかねません。もしJR東海が倒産でもすれば影響は関連企業の皆さんにも直結します。

問題点② 電磁波の影響について

ドイツではかつて開発したリニアは、電磁波や経済的な問題により本国においては完全撤退しました。電磁波の人体への影響は計り知れないものがあります。流産や小児癌などが増える症例の研究発表は数多くあります。

問題点③ 自然環境への影響について

リニア中央新幹線は、南アルプスにトンネルを掘ることになります。問題となるのは山塊の崩落、地下水脈の変化に伴う河川の枯渇、残土処理による環境破壊、生態系への悪影響が懸念されます。

問題点④ 安全性について

リニア中央新幹線は、大深度を通ります。そこで地震や停電で急停止した場合、最大千人といわれる乗客の避難誘導などはどうするのか？運転士のいない車両はどうするのか？また、側壁が崩壊した場合安全な走行は見込めません。5〜10キロ間隔で立坑・斜め坑があると言いますが、幼い子供、老人が歩くのは極めて困難です。

問題点⑤ ウランによる放射能汚染土について

リニア中央新幹線が通過する岐阜県東濃地区には日本最大のウラン鉱床があります。そこに地下トンネルを掘ったら膨大なウラン残土が排出されます。つまり、放射能汚染された土が大量に出てくるかもしれません。人形峠ではウランの採掘が行われていましたが、6人が肺がんで亡くなっています。

問題点⑥ 地域住民への不誠実な説明

6月から環境評価手続きが始まり、関係する沿線住民への説明会が開催されています。しかし、沿線住民からは「立坑を掘るなんて聞いていない」「全く一方的で不誠実だ」など、アリの的な説明に対して怒りの声がでています。

原発を必要とするリニア中央新幹線建設に反対しよう！

JR東海葛西会長は「リスクを覚悟して原発推進」という内容の発言をしています。リニア中央新幹線には新幹線の3倍から5倍の電力、原発5基分が必要とされています。だから原発が必要なのです。脱原発の議論が高まる中、時代に逆行する膨大なエネルギーを消費する乗り物となります。

JR東海労働組合新幹線地方本部は、問題点が多く原発を必要とするリニア中央新幹線建設に反対し、地域住民の方々とも連帯して取り組みを強化していきます。



JR東海労働組合新幹線地方本部

東京都中央区八丁堀 2-1-2

TEL:03-3551-2240 Fax:03-3551-2246

E mail : jrcushinkansen@yahoo.co.jp